

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/成人看護学】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
成人看護援助論Ⅲ		必修	1	2	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
小林 美雪	407	m.kobayashi	授業終了時、水曜日 16:00～17:00		
授業の目的・概要	病状が進行し、身体的、生理的に不可逆的な健康状態を有する人は、QOL（生活の質）の維持を自らの力だけでは行うことが不可能となる。看護においては、その人の抱えている全人的苦痛を知り、受け止め、最期までその人らしい生活を送るための援助が重要となる。講義においては、病状の進行と共に、不可逆的な状態にある人の理解と苦痛緩和への支援さらにはエンド・オブ・ライフ・ケアについて学ぶ。また、エンド・オブ・ライフ・ケアが必要となる病いについて学ぶ。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	成人看護援助論Ⅰ・Ⅱの学習を基に、不可逆的な健康状態を有する人の看護を考える。				
教科書	終末期看護「エンド・オブ・ライフ・ケア」/経過別成人看護学④ 第2版 /編:田村恵子 /メジカルランド社 /2021				
参考書	① 系統看護学講座 緩和ケア第3版 /編:恒藤暁、田村恵子 /医学書院 /2020 ② 系統看護学講座別巻 がん看護学 /著:小松浩子 他 /医学書院 /2022				
外部教材	授業中に提示する。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	エンド・オブ・ライフ・ケアの歴史/制度が説明できる。		HSU(1),NS(1)(2)		
②	エンド・オブ・ライフ・ケアにおける倫理的課題が説明できる。		HSU(1),NS(1)(2)		
③	エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護の機能、役割が説明できる。		HSU(1)(3),NS(1)~(4)		
④	エンド・オブ・ライフ・ケアにつながるがん看護について説明できる。		HSU(1),NS(1)~(4)		
⑤	エンド・オブ・ライフ・ケアにおける退院支援・地域連携が説明できる。		HSU(1)(4),NS(2)~(4)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション エンド・オブ・ライフケア、緩和ケア、がん看護について	講義	事前課題：シラバスを理解して授業に臨む。	1	
2	エンド・オブ・ライフ・ケアが必要となる病い(がん等)の看護①	講義	事前課題：成人看護援助論Ⅱの授業資料を復習して授業に臨む。(内容はその都度提示する。)	1	
3	エンド・オブ・ライフ・ケアが必要となる病い(がん等)の看護②	講義	事前課題：成人看護援助論Ⅱの授業資料を復習して授業に臨む。(内容はその都度提示する。)	1	
4	エンド・オブ・ライフ・ケアが必要となる病い(がん等)の看護③	講義	事前課題：成人看護援助論Ⅱの授業資料を復習して授業に臨む。(内容はその都度提示する。)	1	
5	エンド・オブ・ライフ・ケアの歴史/制度	講義	教科書 p40-58 を読んで授業に臨む。	1	
6	エンド・オブ・ライフ・ケアの目的と場の特性 エンド・オブ・ライフにある患者/家族の理解	講義	教科書 p21-36/ p47-52 を読んで授業に臨む。	1	
7	エンド・オブ・ライフ・ケアにおける倫理的課題	講義	教科書 p64-75 を読んで授業に臨む。	1	
8	死の理解：「死」とは	講義・GW	教科書 p2-18 を読んで授業に臨む。	1	
9	エンド・オブ・ライフ・ケアと緩和ケア(全人的苦痛の緩和)	講義	教科書 139-251 を読んで授業に臨む。	1	
10	エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護の機能、役割①(コミュニケーション/日常生活支援)	講義	教科書 p81-135 を読んで授業に臨む。	1	
11	エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護の機能、役割②(日常生活支援/臨死期)	講義	同上	1	
12	エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護の機能、役割③(多職種連携/退院支援地域連携)	講義	教科書 p269-284 を読んで授業に臨む。	1	
13	エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護の機能、役割③ 事例検討	講義・GW	教科書 p376 事例Ⅷ、p385 事例Ⅸを読んで授業に臨む。	1	

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/成人看護学】

14	遺族のビリーブメントケア/エンゼルケア/医療従事者のグリーフケア	講義	教科書 p294-305、p76-80 を読んで授業に臨む。	1				
15	まとめ	講義・GW	事後課題①授業で学んだことを基に、自己のエンド・オブ・ライフ・ケアについての考えを述べる。	1				
試								
達成度評価								
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		60	30	0	0	10	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	40	10	0	0	0	50	
	思考・推論・創造する力	10	10	0	0	5	25	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5	
	問題を発見・解決する力	10	10	0	0	0	20	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	授業で学んだ知識について、60%評価する。				試験後に振り返りを行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
レポート	①	✓	事後課題①により、授業内容の理解および学生自身の考え方が明確に表現されているかを30%評価する。				試験と合わせて振り返りを行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
その他	①	✓	授業に臨む姿勢について、10%で評価する。					
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
備 考								
他 担 当 教 員	なし							
教 員 の 実 務 経 験	看護師として23年の臨床経験を有する。							
実 践 的 授 業 の 内 容	看護師として一般病院でのがん看護および緩和ケアに従事するとともに、終末期ケアの団体での活動等でのエンドオブライフケアについての経験と知識を活かし、終末期看護の基本的な知識の修得を目指す。							
そ の 他	・感染症の状況などの社会情勢により再度シラバスの変更があることも考えられるが、その際は随時、お知らせする。							